

Face

パソコンプレックス解消で「まちのこんにちは」を増やす

千 葉大学のすぐそば、J R西千葉駅からほど近いNPO法人TRYWARPのオフィス。中へ入ると、「こんにちは」と千葉大パソコンサポートーズのメンバーが、元気に挨拶してくれる。パソコンに苦手意識をもつ40〜70代を対象に、「パソコンプレックス解消大作戦」と銘打って、現役千葉大生がクリックから教えてくれるパソコン教室が大好評だ。

代表理事を務めるのは虎岩雅明さん。03年、千葉大学大学院2年生のときに、資本金0円で「トライワープ」を設立した。「パソコンの苦手意識を解消してもらおう一方で、大学生が年配の受講生にパソコンを教えることで、地域での交流のきっかけが生まれます。次に道で会ったら、お互い『こんにちは』と挨拶する。パソコン教室から、『まちのこんにちは』を増やしていきたいと思ったのです」

以来、パソコン教室を柱に、困ったときに頼りになり、かつ地域の人々とのコミュニケーションを大切にされた事業を展開してきた。お客さんの自宅に向いて、パソコンの調子を見たり、インク1本から交換する「出張サポート」、パソコンやプリンターなど、どの製品を買ってよいかわからない人のために、一緒に電器店へ行ってアドバイスする「購入ツアー」など、利用者に大変喜ばれている。

06年には、地域SNS「あみっぴい」を立ち上げた。「パソコン教室卒業後も、パソコンに触ってもらえるようなコミュニケーションツールを提供したいとの思いから始めました」(虎岩さん)

全国から数多くの要望が寄せられていることもあり、TRYWARPが西千葉で実践してきたパソコン教室を全国に広げることが夢だ。今後はその体制づくりができればと考えている。

「学生を活かせるのがTRYWARPの強み。学生の人材育成にも力を入れていますね」と目を輝かせる。さわやかな笑顔の中に、自分たちで考え、行動してきた信念と自信が感じられる。「まちのこんにちは」が全国で聞かれる日は、そう遠くないと期待したい。



PHOTO/五十嵐秀幸

NPO法人TRYWARP代表理事

虎岩雅明さん
Masaaki Toraiwa

1979年大分県生まれ。千葉大学工学部情報画像工学科から2005年同大学院卒。在学中の03年に千葉大学生による地域でパソコンを教えるサークル「トライワープ」を発足。04年NPO法人化。06年に地域SNS「あみっぴい」を立ち上げ運営中。全国からの講演依頼に奔走する日々。NPO法人TRYWARP：<http://trywarp.com/> プロダ「虎活動」も執筆中：<http://toraiwa.com/>

SNSを通じて大学生と受講生、卒業生、商店街の人々など、様々な人が参加するよき交流の場となっている。あみっぴいは「出会い系でなく出会った系」。パソコン上だけで完結しない人間関係づくりを目指しているのが特徴だ。独自にシステムを開発したことも注目され、問い合わせが相次いだ。

「IT社会が進展したように見えますが、実はパソコンに触ったことのない人、電源さえ入れられない人はまだまだ山のようにいることを実感しています」と虎岩さんは話す。